

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育内容（健康） 指導法 ナンバリング：2303	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名：金美珍 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） ／保育内容演習		
授業の到達目標及びテーマ 1. 幼児の健康、安全、環境及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解できる。 2. 具体的な健康保育を想定した指導案を作成することができる。 3. 模擬保育とその振り返りを通して、健康保育を改善する視点を身につけることができる。			
授業の概要 幼稚園教育要領「健康」のねらいと内容及び内容の取扱いについて理解し、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技術を身につける。特に指導案の作成、模擬保育の実施、情報機器の活用を通して、乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育・発達、運動発達の特徴の理解を深め、適切な指導方法を身につける。			
授業計画 第1回：保育における「健康」とは 第2回：基本的生活習慣の形成を支える援助について 第3回：健康管理と安全能力を育む援助について 第4回：健康指導、安全指導を中心とした具体的な保育場面を想定した指導 第5回：健康指導、安全指導の実態 第6回：幼児の動機づけや意欲などを配慮した健康指導、安全指導の在り方 第7回：幼児理解と保育の視点を基盤とした評価 —指導案の作成と模擬保育を通して— 第8回：多様な動きの経験を促す援助について 第9回：領域「健康」における心身の発達を踏まえた環境構成と援助 第10回：運動遊びを中心とした具体的な保育場面を想定した指導 第11回：運動遊び指導の実際—指導案の作成と模擬保育を通して— 第12回：幼児の動機づけや意欲などを配慮した遊びとしての健康指導の在り方—指導案の作成と模擬保育を通して— 第13回：健康な心と体を育む保育の評価と改善 —情報機器の活用、教材の工夫— 第14回：健康な心身を育むことと小学校の生活や学習で生かされる力 第15回：領域「健康」をめぐる現代的課題と保育実践 定期試験：筆記		授業時間外の学習 ・子どもに読み聞かせたい「からだの動きや病気予防に関する絵本」を図書館などで、1冊選び、伝えたい要点をまとめ、授業時に提出する。（1時間） ・各自の手洗い習慣を振り返り、「いつ・どのように手洗いを行っているか」をまとめ、授業時に提出する。（1時間） ・新聞などの関連記事に注目し、「健康」について自分なりの考えをまとめ、授業時に提出する。（1時間）	
授業の方法 講義および演習。レポートや課題にコメントをしてフィードバックする。			
テキスト 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育内容と方法』（現代保育問題研究会編、一藝社）			
参考書・参考資料等 『幼児期運動指針ガイドブック』（平成27年7月10日 文部科学省） 『保育と幼児期の運動あそび』（岩崎洋子他、萌文書林）			
学生に対する評価 定期試験の成績（40%）、指導計画の立案、模擬保育の実践（30%）、及び受講態度等（30%）を半断して評価する。			
履修上の注意 ・授業にあたっては事前事後の学習を行い、グループでの演習に積極的に取り組むこと。 ・レポートや課題提出は、期限を守ること。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			